

2025（令和7）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1495000653	事業の開始年月日	平成31年3月1日
		指定年月日	平成31年3月1日
法人名	株式会社ケア		
事業所名	グループホーム日の出		
所在地	(210-0824) 神奈川県川崎市川崎区日の出1-12-8		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	27名 ユニット数 3 ユニット
自己評価作成日	令和7年2月14日	評価結果 市町村受理日	令和8年5月7日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「笑顔の介護」を理念に掲げています。事業所の特徴としては、日々のささいなことをアイデアとし、どんなことでもイベントやレクリエーションにしておもう、という取り組みです。利用者様とのコミュニケーションを重視しているので「できない」ではなく「どうしたらできるか」を常に念頭におきケアをしております。例えばご利用者様から「最近パンを食べてない」との声が上がれば、美味しく安全なパンレクを企画します。ハロウィンでは「笑い」を意識し職員ご利用者全員で仮装レクを楽しみました。一人ひとりの役割を大事にし、「食器拭き」「洗濯干し」「モップがけ」「おやつ作り」など担当があり生き生きと過ごしていただいております。当グループホールでの生活が心地よい空間になるようご利用者様にもご協力いただいております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和8年2月26日	評価機関 評価決定日	令和8年4月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<優れている点>
「笑顔の提供」を理念に掲げ、笑顔は伝播するという考えのもと、利用者が自分らしく笑顔で暮らせる環境づくりを大切にしています。管理者が職員とともに明るく施設づくりに注力することを土台とし、地域とのつながりを維持するため、町内会の清掃活動や夏祭りでの介護相談、保育園児との交流など地域に根ざした活動に取り組んでいます。また、薬剤師によるバイオリン演奏ボランティアの受け入れなど、地域コミュニティとの連携も図っています。食のレクリエーションでは、団子などの各々が好むおやつ作りのほか、これまでの経験を生かした刺身の盛り合わせや干し柿作りなどを行い、料理を通じて生き生きとした表情を引き出しています。こうした日々の積み重ねが、笑顔あふれる自分らしい生活の実現につながっています。

<工夫点>
外国人職員が主体となり、ユニットごとに利用者の写真と手書きのコメントを添えた「日の出便り」を毎月家族へ送付しています。日々の生活や行事の様子を伝えることで、事業所の活動に対する理解を深めてもらうよう努めています。また、この作成を通じて職員自身も介護の楽しさを学び、家族との信頼関係を築くことに取り組んでいます。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム日の出
ユニット名	桜

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「笑顔の介護」を理念に掲げております。職員と共有できるようホームの数か所に理念が掲示してあります。外国籍の職員でも理解できるように翻訳したものを配布しております。（ベトナム語、タガログ語、クメール語、英語等）	事業所は「笑顔の介護」を標榜し、「笑顔は伝播する」という考えから、職員自身が笑顔を絶やさないことを最優先に掲げ、利用者への安心感につながる実践を大切にしています。この理念は新入職研修やフロアミーティング、多国籍な職員によるミーティング等を通じて浸透を図っており、全職員が共通の目的を持って日々のケアにあたっています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ご近所の方には運営推進会議の参加を積極的に呼びかけてます。今年の敬老の日は近隣保育園の園児さんが遊びにきて下さり、以降盛んに交流を深めています。町内会やマンションの夏祭りなどのイベントには「介護相談窓口」を開催したりお手伝いを行いました。	地元の婦人会や民生委員を兼務する職員、利用者の家族が接点となり、運営推進会議への参加や地域との交流が生まれています。近隣保育園との敬老の日を通じた交流や、近隣マンションの夏祭りへの参加、地域向けの介護相談の実施など、地域の一員として自然な形での日常的な交流が図られています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	近隣の方や町会長様に、ホームの見学や行事に参加いただいています。ご見学していただくことで地域の方にも認知症の方の理解をいただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度の開催しており、地域包括センター、町内会、婦人会、近隣にお住まいの方にも参加頂いております。昨年にご家族様、利用者様も交えて、災害訓練報告や緊急時、離設時の対応を話し合いました。	会議は形式的な報告に留めず、実効性のある運営を追求しています。毎回テーマを決めて話し合う「回想法」の手法を取り入れ、参加者が意見を述べやすい雰囲気作りを大切にしています。家族などからの「本人にもっと声をかけてほしい」といった具体的な要望はすべて記録し、職員間で共有して日々の支援の向上につなげています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	キャラバンメイトの参加、認知症サポーター開催のお手伝い、包括との意見交換会等、積極的に参加しております。	地域包括支援センターの意見交換会に参加し、介護保険の取り扱いなどの相談を行っています。また、神奈川県認知症高齢者グループホーム協議会への参加を通じて地域の情報共有や研修に取り組み、他事業所との連携を深めています。認知症サポーター養成講座の研修会場として施設内の交流スペースを提供するなど、地域社会の一員として協力体制の構築に努めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業員への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束・虐待廃止委員会による3か月に1度の研修のほか、新入就任時においても個別研修を行い周知徹底しております。各ユニットのフロアミーティングにおいてもミニ勉強会を行いスピーチ ロック・ドラッグロック等の事例検討を行っております。	法人の新人研修に加え、フロアごとのミニ勉強会で具体的な事例検討を継続的に行っています。法人施設合同で身体拘束委員会を設置し、立ち上がりにくいソファのクッションの影響といったグレーゾーンの行為についても「本人の環境にどう影響するか」を個別に検証しています。外国籍スタッフに対しても研修内容を議事録などで周知し、組織全体で拘束をしないケアの理解を深める取り組みを進めています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止委員会を発足し社内研修やマニュアルを作成し防止策に努めております。ユニット会議の際には不適切ケアに該当する案件がなかったか議題に挙げています。職員にはストレスチェックについても周知しております。	虐待防止の研修では動画などを活用し、不適切な事例についてグループワークを行い、客観的な視点から虐待の芽を摘む工夫をしています。また、アンガーマネジメントの視点を取り入れ、職員のストレスや余裕のなさが虐待につながらないように、チームで支え合う体制づくりに努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	運営会議にて「後見人制度」の研修や「日常生活自立支援事業」の勉強会を開催いたしました。また勉強したことを個々のフロアミーティングで周知し、職員も知識を深めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前のインテーク面接の時点からご家族様の不安や疑問にお応えできるよう十分な説明をし、ご理解をいただけるよう努めております		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様の様子は月1回、広報「日の出便り」をご家族様に郵送しております。面会は柔軟に対応しております。家族様から要望・苦情があった場合は、フロアミーティング等迅速に開催し、サービスの向上に努めております	利用者の様子を伝えるため広報誌「日の出便り」を毎月作成しています。家族からの要望を受け、家族が夕食時に参加できる機会を設けています。また、運営推進会議や居室担当者を通じた相談の機会を通じて、家族からの要望などを収集・記録し、運営や日々のケアに柔軟に反映させる体制を整えています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニットのフロアミーティングで上がった議題は、毎月行われる運営会議で報告しております。また運営会議の内容はユニットリーダーから各ユニットに報告がなされ情報共有しております	各ユニットのリーダー、管理者、経営層が参加する運営会議を月1回開催し、現場スタッフが直面している課題や提案を直接話し合える機会を設けています。職員からの意見などは組織全体で情報を共有し、日々の業務改善や職員のモチベーション向上につながるよう努めています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員は個々の職位・資格等級に合わせて給与額が設定されておりやりがいを 持って働ける環境が整備されております	残業をなくし、有給休暇なども取得しやすいよう、法人の事業所間でスタッフが応援に入れる柔軟な体制を整えています。急な欠員にも対応できるシフト調整を行い、過度な労働負担の軽減に努めています。また、外国人ミーティングを実施し、外国人職員が向上心を持って働ける職場環境づくりに取り組んでいます。	外国人職員がさらに力を発揮できるよう、中堅層の育成方法について職員間で話し合い、共に成長できる職場づくりを進めていくことが期待されます。
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	無資格の職員には社内で「初任者研修」を無料で取得できる制度があります。「実践者研修」等の外部研修も積極的に参加できるように環境が整っております	職員の育成は、法人の新人研修、OJT、各ユニットでのミニ勉強会や各種委員会の研修などを組み合わせ、実地での力量把握とスキルアップを段階的に進めています。介護福祉士などの資格取得を支援しており、試験前には本部職員が対策講座を開催して合格を後押ししています。	専門的な知識を共有する機会を作り、外国人職員を含む全職員が認知症への理解を深め、日々のケアを共に振り返る習慣を築いていくことが期待されます。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市の開催するキャラバンメイト連絡会や、社協開催行事等に積極的に参加することで同業者とのネットワークを作り交流を深めサービスに役立てております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用開始前は、ご本人様の思い・要望・困りごと等を傾聴し信頼関係に努めております。「その人らしさ・今できる強み」を見つけ、傾聴の中にも共感を持ち工夫しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階で、まず「ご本人様の困りごと」「ご家族様のこまりごと」と傾聴いたします。ホームでどのように生活してもらいたいかをお聞きしケアプランに組み入れ、職員間で共有いたします。また、その方の生い立ちや人生観も出来る限りお聞かせ頂き、尊重させていただいています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まずはじっくりとご本人様・ご家族様のお話を伺い、受容いたします。後、多職種と連携し必要としている支援を見極めていきます。その人の「出来る事」に視点を置いたサービスに努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	まずはお話をじっくりお聞きするように努めております。日中はご本人様の「できる事」に視点を置き、「お皿ふき」「洗濯たたみ」「ブランターの水あげ」等のお手伝いをさせていただいています。やっていた事には感謝をし、共に生活を送る良き関係を構築しております		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	来園時にはご利用者様の近況・体調面等のお話をこまめにし、ホームでの困りごと等はこちらから積極的に報告し一緒に解決させていただいております。感染症蔓延時には面会制限を設けておりますが、ご家族様には週1回の定例の電話やお手紙にて近況をご報告させていただいております		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所時の面接から、ご本人様の趣味や出身地をお聞きし、支援に役立てられるよう努めております。ご家族様やご友人の方にも協力いただき、ご本人様の懐かしみの深い写真や思い出の品をお部屋に飾るようにしております	本人が大切にしてきた地域とのつながりを維持するため、近隣の夏祭りなど地域の行事に参加できるよう支援しています。詩吟の先生だった利用者のお弟子さんが訪ねて来た際には、交流スペースを活用して交流の場を設けています。利用者や職員の前で張りのある声で懐かしみながら吟詠する機会を作るなど、その人らしい生活の継続を支えています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様の相性やADLに合わせて、テーブル配置・レクリエーション・散歩等工夫しております		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ホームの利用契約が終了したあとはこちらから積極的なフォローはしていませんが、相談があった場合には丁寧かつ親身に対応させていただいております。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	初回の面接時においてご本人様の生活スタイルをなるべく継続できるよう、ご意向を伺っております。ホームでの生活が始まってからも、本人の要望や職員の気づきは随時個人記録に記入して把握に努めております	居室担当制を導入し、担当職員が衣替えの相談や日々の会話などを通じて、本人のこだわりや暮らし方の希望を細かく把握しています。重度化などが進み意思疎通が難しい場合でも、家族などとの密な連絡や面会時の様子から本人の意向を推察し、ユニットリーダーなどを含むチームで最善の支援を検討しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時の面接においては、生活歴、環境、お仕事等のお話をできるだけお伺いしております。ホームでの生活にも生かせるように、郷土名物のおやつレクや、地方に伝わる遊び、歌など、サービスに工夫をしております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	身体状況（バイタル・食事摂取・排泄等）においては24時間の個別記録を付け、体調の変化を見逃さないよう努めております。また日ごろから個々のアクティビティを観察し個人記録に記入することで一人ひとりの有する力を把握しケアプランにも活かしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月のフロアミーティングでは各居室 担当者がご利用者の経過観察を報告 し短期目標達成のための意見交換をしております。ご家族様面会時や往診時 においても支援の報告相談をこまめに 行い介護計画に反映しております。定期的なモニタリング時期以外にもADL等に変化があった際は計画の見直しをしております。	ケアプランは毎月のフロアミーティングで担当者が利用者の経過を報告し、意見交換を経てケアマネジャーと共に作成しています。ADL(日常生活動作)の低下を見逃さず記録し、職員間で共有したのち家族などへ報告しています。月1回の会議で短期目標の達成度を確認し、シャワー浴から入浴への変更や、刻み食から一口大への移行など、具体的な生活機能の向上を目指しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々の入居者様の体調管理・身体状況・生活記録は毎日記録し、職員 間で情報を共有しております。ケアプランをもとに、各ユニットではリーダーが「個別支援計画」を作成し、実践や介護計画の見直しに活かされております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ホームの生活では決まった訪問医療や訪問歯科・訪問美容がございますが、ご本人様やご家族様の希望を受け入れ、個別に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	初回の面談時より、今までの生活スタイル・趣味・病歴等を詳しくアセスメントさせていただくことで社会資源を把握し、ホームに入所しても変わらず地域と密着していけるよう支援しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回提携医療機関による定期往診があり、24時間緊急体制・緊急時対応など適切な医療を受けられる体制が整っております。本人及び家族等の希望があれば、地域のかかりつけ医に受診ができるよう柔軟に対応しております。	利用者の状態に変化が見られた際には速やかに医療機関と連携し、家族などにもその都度報告する体制を構築しています。月に2回、提携医療機関による往診と24時間対応の緊急連絡体制であるオンコールがあり、急変時には別途往診も行うなど、密な連携を保っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員は、朝のバイタル測定や往診医申し送りノート等を活用し、ご利用様の体調管理を常に把握しております。何か変化がおきたときは24時間対応の訪問看護に連絡し適切なアドバイスを受け対応しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関と連携し、早期治療に努めております。入院になった場合も定期的に面会をし、情報共有やカンファレンスの場を設け、早期に退院できるよう努めております		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に重度化・終末期のあり方については、医療機関・ご家族様を含め、ご本人様の意志を尊重し方針を共有しております。看取りの際は再度ご家族様の意思を確認し医療とも連携しながら支援に取り組んでおります。	入居の際に終末医療に向けた本人や家族などの意向を尊重した方針を共有しています。生活機能が低下し摂食が困難となった段階で、医師の指示により家族などに状況を伝えていきます。家族などの看取りへの心の準備期間を考慮し、早期に連絡をする配慮をしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全体研修やフロアミーティングでのミニ勉強会において症状別の勉強会を行っております。職員勉強会（心肺蘇生法・応急手当等）も定期的の実施しております。消防局での「心肺蘇生研修」にも参加しております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災委員会があり、火災、地震、台風、夜間など毎回想定を変えて、課題解決に努めております。委員会では水消火器で使い方を職員にレクチャーしております。運営推進会議では地域の防災に関して話し合う時間を設けております。	ホテルでの防災担当経験を持つ職員が主導し、詳細なマニュアルに基づく本格的な消防訓練を4施設合同で実施しています。訓練後は見直しや改善、研修を行っています。町内会に避難場所や備蓄食料の利用許可を得るなど、地域との協力関係を深めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の尊厳やプライドを損なわないように注意しております。声掛けは常に笑顔で目線を合わせるようにきをつけています。人生の大先輩であるという事を忘れずに言葉使いにも気を付け、笑顔で優しい声掛けや挨拶をするよう心掛けています。	施設の掲げる「入居者の笑顔のために」というグループ指針のもと、利用者一人ひとりに職員が笑顔で優しく声をかけ、寄り添い尊厳ある対応をしています。水分摂取や入浴などの際も本人の意思を尊重しながら適切に対応しています。また、外国人職員が日本語を実践の中から学ぶOJTを実行し、円滑なコミュニケーションを通じた質の高いケアにつなげています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	会話の中でご希望をお聞きし、分かりやすい声掛けや提案をし、その方らしい自己決定が出来るよう努めております。利用者様のお気持ちを傾聴し、自己決定が難しい方はご家族様に相談したり、職員がその方に合った選択が一緒に出来るよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の体調やお気持ちを一番に考慮し、お疲れの時は居室で休んで頂いたり、歩きたい方は職員と一緒に散歩等しています。また、出来る方は職員と一緒に作業や家事手伝いをして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝の整容、爪切りや髭剃り等の清潔感を大事にしています。また、二カ月に一回訪問カットに来て頂き髪型を整えています。季節ごとに衣替えや居室の衣類の整理や点検を行い、肌着や靴下も含め、その方に適している衣類かを確認しています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	栄養バランスを考えられた献立となっております。野菜切り等のお手伝いをして頂いています。また、毎月季節に合った食レクやおやつレクを行い、利用者様と一緒に手作りを楽しみます。利用者様も昔を思い出し、調理の仕方を教えてくれることもあります。	栄養バランスを考えた食事を提供しています。利用者は、ホットケーキやお団子作りといったおやつ作りに参加したり、調理の準備に日常的に関わっています。利用者の得意分野を生かした刺し盛りや餃子、干し柿作りなどの食のレクリエーション企画を通して、食の楽しみを深める取り組みを進めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事形態、食事量は利用者様の嚥下や咀嚼状況により職員間で共有と見直しをしながら個別に提供しています。食事、水分摂取は無理強いしないよう声掛け介助をしています。また、毎月初めに体重測定を行い利用者様の体調把握に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアを行い誤嚥性肺炎の予防等に努めています。義歯の方は外して頂き、歯ブラシで職員が綺麗にしています。また毎週一回の訪問歯科と連携し、一人一人に合った口腔ケアを実施しています。口腔体操も行っています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	生活記録より個々の排泄パターンを把握し、時間を見てお声掛けにて介入しています。リハビリパンツやパッドや布下着がその方に合っているか等見直しを適宜行っています。	排泄の自立に向けた支援として、職員が個々の利用者の食後の排泄パターンを把握し、さらに様子を見て声をかけ、確認や対応を行っています。使用するパッドやリハビリパンツのサイズチェックを適宜行い、快適に過ごすための支援をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄記録にて便困把握し、体操やマッサージ、散歩等の運動を取りいれたり毎朝牛乳をお出しし、なるべく自然排便を促しています。往診時には便の薬の相談もし、必要に応じてナースに相談し、下剤の使用をする場合もあります。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴は曜日を決めて、週2回は入って頂けるようにしています。いろいろな香りの入浴剤を使用し、ゆず湯や菖蒲湯も実施しています。肌の状態によって石鹸等も使用します。体調に応じて短めの入浴にしたり、機械浴も使用します。	入浴は週2回とし、午前2名、午後2名と余裕のある時間配分をして、お風呂でリラックスできるよう配慮しています。利用者の状態に応じてお湯を入れ替え、衛生面への配慮をしています。体調により時間の短縮や機械浴での対応を行っています。利用者ごとに石鹸やシャンプー、薬の箱を設置して個別に対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その方らしい生活スタイルでその時々状況に応じ、休息したり、仮眠を取り入れています。日中に体操や脳トレーニングを実施し、安眠につながるよう心掛けております。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	2週間に一度の往診時に主治医やナース、ホームナース、薬剤師と連携を取り一人一人の状態に合わせて、相談しながら薬の処方をお願いしています。職員間でも情報共有し対応出来るよう努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	季節の行事には職員による仮装等の企画をしています。踊りや歌が得意な方は職員と一緒に披露したりしています。お誕生日会にも皆様が楽しんで頂けるようなレクリエーションを実施しております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	初詣や地域交流、町内の夏祭りにも参加しました。またご家族様対応にてご自宅に行かれたり美容院に行かれる方もいます。感染対策に努めながら外出支援をしております。	公園や多摩川までの散歩をはじめ、車いす対応の車両を利用して遠方への外出も支援しています。初詣には地域の氏神を訪れ、地元の夏祭りにも参加しています。家族などの協力による一時帰宅や、馴染みの美容院での散髪といった、地域交流につながる外出の機会を頻繁に作っています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	地域のお祭りやイベントマルシェで職員と一緒に買い物をしたり、甘酒を召し上がったたり、販売機で好きな飲み物を買ったり等、一人一人の意思で使えるよう支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御家族や大切な人にルールを守って頂きながら、ご希望の方には携帯電話を所持して頂いています。年賀状、暑中見舞い等写真入りのハガキをお送りしたり月に一度ホーム便りもお送りしています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節を感じて頂きたくフロア内に壁画や手作りカレンダーを作成して貼り出しています。制作物も掲示しています。フロアの掃除はこまめに行い、明るく落ち着いて過ごして頂けるよう努めています。	中庭は吹き抜けとなっており、採光がよく、居間は明るく保たれています。壁には花紙を丸めて職員と利用者が作成した季節感のある製作物やカレンダーを掲示しています。共用空間は定期的な掃除のほか、トイレやフロアも状況に応じてその都度掃除を行い、常に衛生面に配慮しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロア内のテレビを天井から付ける事により、皆様がどの席からもご覧になれるようにしています。また、人間関係にも配慮し、コミュニケーションが取りやすい座席を考え、安心して過ごせるようにしています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みのある家具や、お写真等好きなものをお持ち頂き、安心して心地良く過ごして頂けるようにしています。お部屋の掃除はご利用者様と一緒にしております。なるべく自宅と同じような習慣でお過ごしいただけるよう配慮しております。	各居室にはベッド、エアコン、照明を備えています。利用者は慣れ親しんだ家具や写真、仏壇などを持参し、自宅のような落ち着いた空間をご自身で作っています。こうした環境が、環境の変化による不安を和らげる一助となっています。また、職員と一緒にモップがけや整理を行い、自宅と同じような日々の習慣を続けることで、ホームでの暮らしにおいても自分の役割や生活のリズムを保てるよう支援しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	必要な箇所に手すりの設置やトイレ、各居室には一目で分かるよう大きく場所を表示しています。安全に出来るだけ自立した生活が送れるよう工夫しています。		

事業所名	グループホーム日の出
ユニット名	椿

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「笑顔の介護」を理念に掲げております。職員と共有できるようホームの数か所に理念が掲示してあります。外国籍の職員でも理解できるように翻訳したものを配布しております。（ベトナム語、タガログ語、クメール語、英語等）		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ご近所の方には運営推進会議の参加を積極的に呼びかけてます。昨年の敬老の日は近隣保育園の園児さんが遊びにきて下さり、以降盛んに交流を深めています。町内会やマンションの夏祭りなどのイベントには「介護相談窓口」を開催したりお手伝いを行いました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	近隣の方や町会長様に、ホームの見学や行事に参加いただいています。ご見学していただくことで地域の方にも認知症の方の理解をいただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度の開催しており、地域包括センター、町内会、婦人会、近隣にお住まいの方にも参加頂いております。昨年にご家族様、利用者様も交えて、災害訓練報告や緊急時、離設時の対応を話し合いました。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	キャラバンメイトの参加、認知症サポーター開催のお手伝い、包括との意見交換会等、積極的に参加しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束・虐待廃止委員会による3か月に1度の研修のほか、新入就任時においても個別研修を行い周知徹底しております。各ユニットのフロアミーティングにおいてもミニ勉強会を行いスピーチ ロック・ドレッジロック等の事例検討を行っております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止委員会を発足し社内研修やマニュアルを作成し防止策に努めております。ユニット会議の際には不適切ケアに該当する案件がなかったか議題に挙げています。職員にはストレスチェックについても周知しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	運営会議にて「後見人制度」の研修や「日常生活自立支援事業」の勉強会を開催いたしました。また勉強したことを個々のフロアミーティングで周知し、職員も知識を深めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前のインテーク面接の時点からご家族様の不安や疑問にお応えできるよう十分な説明をし、ご理解をいただけるよう努めております		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様の様子は月1回、広報「日の出便り」をご家族様に郵送しております。面会は柔軟に対応しております。家族様から要望・苦情があった場合は、フロアミーティング等迅速に開催し、サービスの向上に努めております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニットのフロアミーティングで上がった議題は、毎月行われる運営会議で報告しております。また運営会議の内容はユニットリーダーから各ユニットに報告がなされ情報共有しております		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員は個々の職位・資格等級に合わせて給与額が設定されておりやりがいをもちながら働ける環境が整備されております		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	無資格の職員には社内で「初任者研修」を無料で取得できる制度があります。「実践者研修」等の外部研修も積極的に参加できるように環境を整っております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市の開催するキャラバンメイト連絡会や、社協開催行事等に積極的に参加することで同業者とのネットワークを作り交流を深めサービスに役立てております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用開始前は、ご本人様の思い・要望・困りごと等を傾聴し信頼関係に努めております。「その人らしさ・今できる強み」を見つけ、傾聴の中にも共感を持ち工夫しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階で、まず「ご本人様の困りごと」「ご家族様のこまりごと」と傾聴いたします。ホームでどのように生活してもらいたいかをお聞きしケアプランに組み入れ、職員間で共有いたします。また、その方の生い立ちや人生観も出来る限りお聞かせ頂き、尊重させていただいてます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まずはじっくりとご本人様・ご家族様のお話を伺い、受容いたします。後、多職種と連携し必要としている支援を見極めていきます。その人の「出来る事」に視点を置いたサービスに努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	まずはお話をじっくりお聞きするよう努めております。日中はご本人様の「できる事」に視点を置き、「お皿ふき」「洗濯たたみ」「プリンターの水あげ」等のお手伝いをさせていただいてます。やっていただいた事には感謝をし、共に生活を送る良き関係を構築しております		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	来園時にはご利用者様の近況・体調面等のお話をこまめにし、ホームでの困りごと等はこちらから積極的に報告し一緒に解決させていただいております。感染症蔓延時には面会制限を設けておりますが、ご家族様には週1回の定例の電話やお手紙にて近況をご報告させていただいております		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所時の面接から、ご本人様の趣味や出身地をお聞きし、支援に役立てられるよう努めております。ご家族様やご友人の方にも協力していただき、ご本人様の懐かしみの深い写真や思い出の品をお部屋に飾るようにしております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様の相性やADLに合わせて、テーブル配置・レクリエーション・散歩等工夫しております		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ホームの利用契約が終了したあとはこちらから積極的なフォローはしていませんが、相談があった場合には丁寧かつ親身に対応させていただいております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	初回の面接時においてご本人様の生活スタイルをなるべく継続できるよう、ご意向を伺っております。ホームでの生活が始まってからも、本人の要望や職員の気づきは随時個人記録に記入して把握に努めております		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時の面接においては、生活歴、環境、お仕事等のお話をできるだけお伺いしております。ホームでの生活にも生かせるように、郷土名物のおやつレクや、地方に伝わる遊び、歌など、サービスに工夫をしております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	身体状況（バイタル・食事摂取・排泄等）においては24時間の個別記録を付け、体調の変化を見逃さないよう努めております。また日ごろから個々のアクティビティを観察し個人記録に記入することで一人ひとりの有する力を把握しケアプランにも活かしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月のフロアミーティングでは各居室 担当者がご利用者様の経過観察を報告 し短期目標達成のための意見交換をしております。ご家族様面会時や往診時 においても支援の報告相談をこまめに 行い介護計画に反映しております。定期的なモニタリング時期以外にもADL等に変化があった際は計画の見直しをしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々の入居者様の体調管理・身体状況・生活記録は毎日記録し、職員 間で情報を共有しております。ケアプランをもとに、各ユニットではリーダーが「個別支援計画」を作成し、実践や介護計画の見直しに活かされております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ホームの生活では決まった訪問医療や訪問歯科・訪問美容がございしますが、ご本人様やご家族様の希望を受け入れ、個別に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	初回の面談時より、今までの生活スタイル・趣味・病歴等を詳しくアセスメントさせていただくことで社会資源を把握し、ホームに入所しても変わらず地域と密着していけるよう支援しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回提携医療機関による定期往診があり、24時間緊急体制・緊急時対応など適切な医療を受けられる体制が整っております。本人及び家族等の希望があれば、地域のかかりつけ医に受診ができるよう柔軟に対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員は、朝のバイタル測定や往診医申し送りノート等を活用し、ご利用様の体調管理を常に把握しております。何か変化がおきたときは24時間対応の訪問看護に連絡し適切なアドバイスを受け対応しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関と連携し、早期治療に努めております。入院になった場合も定期的に面会をし、情報共有やカンファレンスの場を設け、早期に退院できるよう努めております		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に重度化・終末期のあり方については、医療機関・ご家族様を含め、ご本人様の意志を尊重し方針を共有しております。看取りの際は再度ご家族様の意思を確認し医療とも連携しながら支援に取り組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全体研修やフロアミーティングでのミニ勉強会において症状別の勉強会を行っております。職員勉強会（心肺蘇生法・応急手当等）も定期的の実施しております。消防局での「心肺蘇生研修」にも参加しております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災委員会があり、火災、地震、台風、夜間など毎回想定を変えて、課題解決に努めております。委員会では水消火器で使い方を職員にレクチャーしております。運営推進会議では地域の防災に関して話し合う時間を設けております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の尊厳やプライドを損なわないように注意しております。声掛けは常に笑顔で目線を合わせるようにきをつけています。人生の大先輩であるという事を忘れずに言葉使いにも気を付け、笑顔で優しい声掛けや挨拶をするよう心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	会話の中でご希望をお聞きし、分かりやすい声掛けや提案をし、その方らしい自己決定が出来るよう努めております。利用者様のお気持ちを傾聴し、自己決定が難しい方はご家族様に相談したり、職員がその方に合った選択と一緒に出来るよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の体調やお気持ちを一番に考慮し、お疲れの時は居室で休んで頂いたり、歩きたい方は職員と一緒に散歩等しています。また、出来る方は職員と一緒に作業や家事手伝いをして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝の整容、爪切りや髭剃り等の清潔感を大事にしています。また、二カ月に一回訪問カットに来て頂き髪型を整えています。季節ごとに衣替えや居室の衣類の整理や点検を行い、肌着や靴下も含め、その方に適している衣類かを確認しています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	栄養バランスを考えられた献立となっております。野菜切り等のお手伝いをして頂いています。また、毎月季節に合った食レクやおやつレクを行い、利用者様と一緒に手作りを楽しみます。利用者様も昔を思い出し、調理の仕方を教えてくれることもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事形態、食事量は利用者様の嚥下や咀嚼状況により職員間で共有と見直しをしながら個別に提供しています。食事、水分摂取は無理強いしないよう声掛け介助をしています。また、毎月初めに体重測定を行い利用者様の体調把握に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアを行い誤嚥性肺炎の予防等に努めています。義歯の方は外して頂き、歯ブラシで職員が綺麗にしています。また毎週一回の訪問歯科と連携し、一人一人に合った口腔ケアを実施しています。口腔体操も行っています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	生活記録より個々の排泄パターンを把握し、時間を見てお声掛けにて介入しています。リハビリパンツやパッドや布下着がその方に合っているか等見直しを適宜行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄記録にて便困把握し、体操やマッサージ、散歩等の運動を取りいれたり毎朝牛乳をお出しし、なるべく自然排便を促しています。往診時には便の薬の相談もし、必要に応じてナースに相談し、下剤の使用をする場合もあります。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴は曜日を決めて、週2回は入って頂けるようにしています。いろいろな香りの入浴剤を使用し、ゆず湯や菖蒲湯も実施しています。肌の状態によって石鹸等も使用します。体調に応じて短めの入浴にしたり、機械浴も使用します。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その方らしい生活スタイルでその時々状況に応じ、休息したり、仮眠を取り入れています。日中に体操や脳トレーニングを実施し、安眠につながるよう心掛けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	2週間に一度の往診時に主治医やナース、ホームナース、薬剤師と連携を取り一人一人の状態に合わせて、相談しながら薬の処方をお願いしています。職員間でも情報共有し対応出来るよう努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	季節の行事には職員による仮装等の企画をしています。踊りや歌が得意な方は職員と一緒に披露したりしています。お誕生日会にも皆様が楽しんで頂けるようなレクリエーションを実施しております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	初詣や地域交流、町内の夏祭りにも参加しました。またご家族様対応にてご自宅に行かれたり美容院に行かれる方もいます。感染対策に努めながら外出支援をしております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	地域のお祭りやイベントマルシェで職員と一緒に買い物をしたり、甘酒を召し上がったたり、販売機で好きな飲み物を買ったり等、一人一人の意思で使えるよう支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御家族や大切な人にルールを守って頂きながら、ご希望の方には携帯電話を所持して頂いています。年賀状、暑中見舞い等写真入りのハガキをお送りしたり月に一度ホーム便りもお送りしています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節を感じて頂きたくフロア内に壁画や手作りカレンダーを作成して貼り出しています。制作物も掲示しています。フロアの掃除はこまめに行い、明るく落ち着いて過ごして頂けるよう努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロア内のテレビを天井から付ける事により、皆様がどの席からもご覧になれるようにしています。また、人間関係にも配慮し、コミュニケーションが取りやすい座席を考え、安心して過ごせるようにしています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みのある家具や、お写真等好きなものをお持ち頂き、安心して心地良く過ごして頂けるようにしています。お部屋の掃除はご利用者様と一緒に一緒に行っております。なるべく自宅と同じような習慣でお過ごしいただけるよう配慮しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	必要な箇所に手すりの設置やトイレ、各居室には一目で分かるよう大きく場所を表示しています。安全に出来るだけ自立した生活が送れるよう工夫しています。		

事業所名	グループホーム日の出
ユニット名	楓

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「笑顔の介護」を理念に掲げております。職員と共有できるようホームの数か所に理念が掲示してあります。外国籍の職員でも理解できるように翻訳したものを配布しております。（ベトナム語、タガログ語、クメール語、英語等）		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ご近所の方には運営推進会議の参加を積極的に呼びかけてます。昨年の敬老の日は近隣保育園の園児さんが遊びにきて下さり、以降盛んに交流を深めています。町内会やマンションの夏祭りなどのイベントには「介護相談窓口」を開催したりお手伝いを行いました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	近隣の方や町会長様に、ホームの見学や行事に参加いただいています。ご見学していただくことで地域の方にも認知症の方の理解をいただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度の開催しており、地域包括センター、町内会、婦人会、近隣にお住まいの方にも参加頂いております。昨年にご家族様、利用者様も交えて、災害訓練報告や緊急時、離設時の対応を話し合いました。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	キャラバンメイトの参加、認知症サポーター開催のお手伝い、包括との意見交換会等、積極的に参加しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束・虐待廃止委員会による3か月に1度の研修のほか、新入就任時においても個別研修を行い周知徹底しております。各ユニットのフロアミーティングにおいてもミニ勉強会を行いスピーチ ロック・ドレッジロック等の事例検討を行っております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止委員会を発足し社内研修やマニュアルを作成し防止策に努めております。ユニット会議の際には不適切ケアに該当する案件がなかったか議題に挙げています。職員にはストレスチェックについても周知しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	運営会議にて「後見人 制度」の研修や「日常生活自立支援事業」の勉強会を開催いたしました。また勉強したことを個々のフロアミーティングで周知し、職員も知識を深めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前のインテーク面接の時点からご家族様の不安や疑問にお応えできるよう十分な説明をし、ご理解をいただけるよう努めております		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様の様子は月1回、広報「日の出便り」をご家族様に郵送しております。面会は柔軟に対応しております。家族様から要望・苦情があった場合は、フロアミーティング等迅速に開催し、サービスの向上に努めております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニットのフロアミーティングで上がった議題は、毎月行われる運営会議で報告しております。また運営会議の内容はユニットリーダーから各ユニットに報告がなされ情報共有しております		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員は個々の職位・資格等級に合わせて給与額が設定されておりやりがいを 持って働ける環境が整備されております		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	無資格の職員には社内で「初任者研修」を無料で取得できる制度があります。「実践者研修」等の外部研修も積極的に参加できるように環境が整っております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市の開催するキャラバンメイト連絡会や、社協開催行事等に積極的に参加することで同業者とのネットワークを作り交流を深めサービスに役立てております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用開始前は、ご本人様の思い・要望・困りごと等を傾聴し信頼関係に努めております。「その人らしさ・今できる強み」を見つけ、傾聴の中にも共感を持ち工夫しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階で、まず「ご本人様の困りごと」「ご家族様のこまりごと」と傾聴いたします。ホームでどのように生活してもらいたいかをお聞きしケアプランに組み入れ、職員間で共有いたします。また、その方の生い立ちや人生観も出来る限りお聞かせ頂き、尊重させていただいてます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まずはじっくりとご本人様・ご家族様のお話を伺い、受容いたします。後、多職種と連携し必要としている支援を見極めていきます。その人の「出来る事」に視点を置いたサービスに努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	まずはお話をじっくりお聞きするよう努めております。日中はご本人様の「できる事」に視点を置き、「お皿ふき」「洗濯たたみ」「プリンターの水あげ」等のお手伝いをさせていただいてます。やっていただいた事には感謝をし、共に生活を送る良き関係を構築しております		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	来園時にはご利用者様の近況・体調面等のお話をこまめにし、ホームでの困りごと等はこちらから積極的に報告し一緒に解決させていただいております。感染症蔓延時には面会制限を設けておりますが、ご家族様には週1回の定例の電話やお手紙にて近況をご報告させていただいております		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所時の面接から、ご本人様の趣味や出身地をお聞きし、支援に役立てられるよう努めております。ご家族様やご友人の方にも協力していただき、ご本人様の懐かしみの深い写真や思い出の品をお部屋に飾るようにしております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様の相性やADLに合わせて、テーブル配置・レクリエーション・散歩等工夫しております		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ホームの利用契約が終了したあとはこちらから積極的なフォローはしていませんが、相談があった場合には丁寧かつ親身に対応させていただいております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	初回の面接時においてご本人様の生活スタイルをなるべく継続できるよう、ご意向を伺っております。ホームでの生活が始まってからも、本人の要望や職員の気づきは随時個人記録に記入して把握に努めております		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時の面接においては、生活歴、環境、お仕事等のお話をできるだけお伺いしております。ホームでの生活にも生かせるように、郷土名物のおやつレクや、地方に伝わる遊び、歌など、サービスに工夫をしております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	身体状況（バイタル・食事摂取・排泄等）においては24時間の個別記録を付け、体調の変化を見逃さないよう努めております。また日ごろから個々のアクティビティを観察し個人記録に記入することで一人ひとりの有する力を把握しケアプランにも活かしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月のフロアミーティングでは各居室 担当者がご利用者様の経過観察を報告 し短期目標達成のための意見交換をしております。ご家族様面会時や往診時 においても支援の報告相談をこまめに 行い介護計画に反映しております。定期的なモニタリング時期以外にもADL等に変化があった際は計画の見直しをしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々の入居者様の体調管理・身体状況・生活記録は毎日記録し、職員 間で情報を共有しております。ケアプランをもとに、各ユニットではリーダーが「個別支援計画」を作成し、実践や介護計画の見直しに活かされております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ホームの生活では決まった訪問医療や訪問歯科・訪問美容がございしますが、ご本人様やご家族様の希望を受け入れ、個別に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	初回の面談時より、今までの生活スタイル・趣味・病歴等を詳しくアセスメントさせていただくことで社会資源を把握し、ホームに入所しても変わらず地域と密着していけるよう支援しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回提携医療機関による定期往診があり、24時間緊急体制・緊急時対応など適切な医療を受けられる体制が整っております。本人及び家族等の希望があれば、地域のかかりつけ医に受診ができるよう柔軟に対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員は、朝のバイタル測定や往診医申し送りノート等を活用し、ご利用者様の体調管理を常に把握しております。何か変化がおきたときは24時間対応の訪問看護に連絡し適切なアドバイスを受け対応しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関と連携し、早期治療に努めております。入院になった場合も定期的に面会をし、情報共有やカンファレンスの場を設け、早期に退院できるよう努めております		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に重度化・終末期のあり方については、医療機関・ご家族様を含め、ご本人様の意志を尊重し方針を共有しております。看取りの際は再度ご家族様の意思を確認し医療とも連携しながら支援に取り組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全体研修やフロアミーティングでのミニ勉強会において症状別の勉強会を行っております。職員勉強会（心肺蘇生法・応急手当等）も定期的の実施しております。消防局での「心肺蘇生研修」にも参加しております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災委員会があり、火災、地震、台風、夜間など毎回想定を変えて、課題解決に努めております。委員会では水消火器で使い方を職員にレクチャーしております。運営推進会議では地域の防災に関して話し合う時間を設けております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の尊厳やプライドを損なわないように注意しております。声掛けは常に笑顔で目線を合わせるようにきをつけています。人生の大先輩であるという事を忘れずに言葉使いにも気を付け、笑顔で優しい声掛けや挨拶をするよう心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	会話の中でご希望をお聞きし、分かりやすい声掛けや提案をし、その方らしい自己決定が出来るよう努めております。利用者様のお気持ちを傾聴し、自己決定が難しい方はご家族様に相談したり、職員がその方に合った選択と一緒に出来るよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の体調やお気持ちを一番に考慮し、お疲れの時は居室で休んで頂いたり、歩きたい方は職員と一緒に散歩等しています。また、出来る方は職員と一緒に作業や家事手伝いをして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝の整容、爪切りや髭剃り等の清潔感を大事にしています。また、二カ月に一回訪問カットに来て頂き髪型を整えています。季節ごとに衣替えや居室の衣類の整理や点検を行い、肌着や靴下も含め、その方に適している衣類かを確認しています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	栄養バランスを考えられた献立となっており、野菜切り等のお手伝いをして頂いています。また、毎月季節に合った食レクやおやつレクを行い、利用者様と一緒に手作りを楽しみます。利用者様も昔を思い出し、調理の仕方を教えてくれることもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事形態、食事量は利用者様の嚥下や咀嚼状況により職員間で共有と見直しをしながら個別に提供しています。食事、水分摂取は無理強いしないよう声掛け介助をしています。また、毎月初めに体重測定を行い利用者様の体調把握に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアを行い誤嚥性肺炎の予防等に努めています。義歯の方は外して頂き、歯ブラシで職員が綺麗にしています。また毎週一回の訪問歯科と連携し、一人一人に合った口腔ケアを実施しています。口腔体操も行っています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	生活記録より個々の排泄パターンを把握し、時間を見てお声掛けにて介入しています。リハビリパンツやパッドや布下着がその方に合っているか等見直しを適宜行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄記録にて便困把握し、体操やマッサージ、散歩等の運動を取りいれたり毎朝牛乳をお出しし、なるべく自然排便を促しています。往診時には便の薬の相談もし、必要に応じてナースに相談し、下剤の使用をする場合もあります。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴は曜日を決めて、週2回は入って頂けるようにしています。いろいろな香りの入浴剤を使用し、ゆず湯や菖蒲湯も実施しています。肌の状態によって石鹸等も使用します。体調に応じて短めの入浴にしたり、機械浴も使用します。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その方らしい生活スタイルでその時々状況に応じ、休息したり、仮眠を取り入れています。日中に体操や脳トレーニングを実施し、安眠につながるよう心掛けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	2週間に一度の往診時に主治医やナース、ホームナース、薬剤師と連携を取り一人一人の状態に合わせて、相談しながら薬の処方をお願いしています。職員間でも情報共有し対応出来るよう努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	季節の行事には職員による仮装等の企画をしています。踊りや歌が得意な方は職員と一緒に披露したりしています。お誕生日会にも皆様が楽しんで頂けるようなレクリエーションを実施しております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	初詣や地域交流、町内の夏祭りにも参加しました。またご家族様対応にてご自宅に行かれたり美容院に行かれる方もいます。感染対策に努めながら外出支援をしております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	地域のお祭りやイベントマルシェで職員と一緒に買い物をしたり、甘酒を召し上がったり、販売機で好きな飲み物を買ったり等、一人一人の意思で使えるよう支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御家族や大切な人にルールを守って頂きながら、ご希望の方には携帯電話を所持して頂いています。年賀状、暑中見舞い等写真入りのハガキをお送りしたり月に一度ホーム便りもお送りしています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節を感じて頂きたくフロア内に壁画や手作りカレンダーを作成して貼り出しています。制作物も掲示しています。フロアの掃除はこまめに行い、明るく落ち着いて過ごして頂けるよう努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロア内のテレビを天井から付ける事により、皆様がどの席からもご覧になれるようにしています。また、人間関係にも配慮し、コミュニケーションが取りやすい座席を考え、安心して過ごせるようにしています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みのある家具や、お写真等好きなものをお持ち頂き、安心して心地良く過ごして頂けるようにしています。お部屋の掃除はご利用者様と一緒に一緒に行っております。なるべく自宅と同じような習慣でお過ごしいただけるよう配慮しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	必要な箇所に手すりの設置やトイレ、各居室には一目で分かるよう大きく場所を表示しています。安全に出来るだけ自立した生活が送れるよう工夫しています。		

令和7年度

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム日の出

作成日 令和8年4月30日

優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成期間
1	2	ホームと地域とのつきあいを深めること	地域に完全に溶け込んだ施設となるようにする	地元の職員さんを通じて町内会や婦人会との連携を行うこと、地域の行事には積極的に参加すること	12ヵ月
2	10	利用者様とのより確実な信頼を築くこと	各利用者様に対する全人的理解を目指し日々の介護に活かす	各職員が傾聴の技術を身につけ、利用者の望んでいることを深く読みとれるように研修を行う	12ヵ月
3	13	チームケアの充実を図ること	往診医療機関、看護との連携や日勤夜勤の連携を深めて全員で介護を行うこと	チームケアの事例をもとに研修を行い各ユニットで成功事例等の共有を行う	6か月
4	15	緊急時・急変時の対応力を向上させること	外国人職員も夜勤時の急変にしっかりと対応できるようにする	母国語のマニュアルを作成し、理解を深め正確な対応ができるようにする、電話対応についても要点をつかめるようにする	3か月
5	22	利用者様にとって居心地のよい生活空間を実現すること	パーソンセンタードケアが実践できるようにする	入居時だけではなく、常にご家族様から利用者様の全人的理解の為に情報を収集する	3か月